



ホストタウン交流事業

ノルウェー王国駐日大使と記念植樹

3月17日（木）、東京2020オリンピック・パラリンピックで、ノルウェー王国ボート競技選手団の事前キャンプを潮来市で受け入れたことに対し、ノルウェー王国のインガ M・W・ニーハマル駐日大使が潮来市にご来訪されました。来訪に際し、大使から、事前キャンプ受け入れに対する感謝の意を含め、感謝状とガラス工芸品、モミの木をいただき、市役所で記念植樹を行いました。

植樹式において、大使から、「大会におけるノルウェー選手の結果からみても、潮来市の事前キャンプ受け入れ体制は素晴らしかったことがわかります。ありがとうございますを伝えに来ましたが、温かく迎えてくれて感激しています」と謝辞をいただきました。原市長は「このご縁は末永く、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとしてつないでまいります」との言葉に加え、花言葉に「永遠」の意味が込められているモミの木の寄贈に対する感謝と末永い交流を願い、感謝状を贈りました。

ノルウェー王国との交流は、東京2020オリンピック・パラリンピック大会において、駐日ノルウェー王国大使館から事前キャンプ地を探しているとの連絡をいただいたことをきっかけに、潮来市におけるノルウェー王国選手の事前キャンプ実施が決定しました。

最終的に同国チームはオリンピックで男子Kjetil Borch（ヒエテル・ボルチ）選手が銀メダルを、パラリンピックで女子Birgit Lovise Røkkum Skarstein（ビリギット ロビセ レクム・スカルスタイン）選手が金メダルを獲得しました。



事前キャンプ地の会場（ボートセンターあめんぼ）を視察する大使



事前キャンプの様子